

図書館だより 4月号

王滝村教育委員会
村民図書館

TEL: 48-2134

図書館利用時間: 平日(開校日)午前9時~午後4時

5月の「読書会」は、5月14日(木)13時30分からです。4月はお休みです。

令和7年度村民図書館利用者などの内訳

現在、図書館には、蔵書として登録された本が12,569冊あります。

7年度、村図書購入本(雑誌・実用書・絵本も含む)	159冊
» 新規図書カード登録者	5名
» 図書館利用者延べ人数	367名
» 図書館貸出冊数	542冊
» 読書会 10回開催	合計参加人数 78名
» その他の図書館利用	手芸サークル 2回
» »	手芸有志の会 8回

先月、三月三十一日で令和七年度が終わりました。この一年間を振り返り、村民図書館(学校図書館)の一年間の活動をご報告いたします。

先月、三月十二日に行われた読書会は、合計五人の参加者がありました。

まず、絵本の中の一つの絵からインスピレーションを受けた脇坂さんの作品を皆で鑑賞しました。



脇坂さんの作品



「春に恋したねこ」刀根里衣著
実業之日本社

その後、二つの本に話が及びました。「52ヘルツのクジラたち」町田そのこ



「52ヘルツのクジラたち」
町田そのこ 著
中央公論新社

この本については、信濃毎日新聞・MGプレスの三月七日版の「私の一冊」というコーナーに投稿された太田みの梨さん(十六歳)の感想文があります。以下、一部を引用いたします。

∴ 自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴湖と、母親に虐待され「ムシ」と呼ばれる少年との物語。「52ヘルツのクジラ」とは、他のクジラが聞き取れない高い周波数で鳴くクジラのことです。多くの仲間がいるはずなのに何も届かない

い、届けられない孤独な存在を象徴しています。最初はネガティブな貴湖でしたが、徐々に自分を取り戻し、明るくなっていく姿が印象的です。最終的には過去にできなかった「誰かを救う」ことができるようになる。人はここまで変われるんだなって思えました。

自分の感情を押し殺してしまっている人、自分のことを後回しにしている人にぜひ読んでもらいたい。∴ 以上、一部引用終わり

二冊目は「人魚が逃げた」青山美智子です。



「人魚が逃げた」
青山美智子 著
PHP 研究所

二〇二五年の「本屋大賞」にノミネートされました。銀座の歩行者天国、和光デパート周辺を舞台に繰り広げられる五人の男女の物語です。読後感がほっこりするという感想が数人から寄せられています。次回、五月の読書会にこの本を取り上げてみようかと考え中です。一つの本に対して、様々な視点からの意見・感想を聞けるのも、また、楽しいものだと思います。図書館にありますので手に取ってみてください。読んでない人も読んだ人も、お気軽にご参加ください。